



秋川牧園

株主通信 冬号



代表取締役社長

秋川 正

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、当社第45期第2四半期連結累計期間の事業の状況につきまして、
ご報告申し上げます。

Q 上半期までの連結業績についてお聞かせください。

上半期の売上高は、対前年比 8.8%と引き続き拡大することができました。この間、複数回に渡って進めてきた値上げの効果に加えて、特に冷凍加工食品の販売が好調に推移しました。

一方、直販事業は 0.2%の伸びとなっています。物価高による消費者の節約シフト要因と、コロナ需要からの反動による店舗回帰要因が背景にあると分析しています。日本の EC 市場全体も今は苦戦する局面にあることから、消費者の心理に寄り添った販売面での工夫が必要だと認識しています。

損益面では、この間に高騰を続けていた飼料価格は足元では下落に転じたものの、営業外収入で計上する飼料価格安定基金からの補填金収入も減少しているため、正味の飼料コストは上昇を続けています。また、人件費や運賃の増加など様々なコストアップ要因が継続的に発生しています。その上で上期は、値上効果を含めた売上高の増加要因によってそれらを吸収し、増益を確保することができました。



▲今秋よりリニューアル販売を開始した「鶏だんご」
鶏の旨みを楽しめる、シンプルな味わいです。

Q 現在の経営環境と今後の経営方針をどのように考えていますか？

様々な世界情勢の変化、気候変動の影響の顕在化、円安と物価高騰の長期化など、経営環境は以前にも増して不安定なものとなっています。特に警戒したいことは消費者心理の冷え込みが進み、過度な節約志向に振れてしまうリスクです。ブランド力や商品の品質を高める取り組みに加えて、コスト面での競争力も高める努力の重要性が増しています。

また、今後ますます重要課題となると考えられることは人手不足の問題です。この課題は日本全体のありとあらゆる業種に広がっています。そこで、いかに働く人から選ばれる魅力的な会社となるかは重要な視点となります。また、今後も当社が持続的に成長していくためにも、会社全体で新たに生み出す価値の総量をもっと増やしていきたいと考えていますが、その鍵を握るものはやはり「人材」です。この間、当社ではブランド戦略の推進に特に力を入れてきましたが、さらに人材戦略にも本腰を入れて取り組んでいきたいと考えています。

鶏肉及び冷凍加工食品を中心に販売が好調に推移。製品の値上げ効果に加えて、鶏肉パックセンター及び冷凍食品工場の生産性向上等により増益に。

業績ハイライト

		第42期 ('20.4~'20.9)	第43期 ('21.4~'21.9)	第44期 ('22.4~'22.9)	第45期 ('23.4~'23.9)
売上高	(百万円)	3,188	3,200	3,338	3,632
営業利益	(百万円)	135	43	△23	47
経常利益	(百万円)	145	91	34	127
四半期純利益	(百万円)	89	63	16	86
1株当たり四半期純利益	(円)	21.44	15.35	3.85	20.73
総資産	(百万円)	5,244	5,439	5,485	6,358
純資産	(百万円)	1,846	1,982	1,982	2,180

Q 上半期の取り組みのトピックスをお聞かせください。

直販事業の新物流センターの建設が、11月末の完成に向けて順調に進んでいますが、並行して基幹システムの更新プロジェクトも進めています。システムに投資することで、注文からお届けまでのリードタイムを短縮するなど、会員様へのサービスレベルを引き上げていきたいと考えています。

ブランド戦略では、この春から初めてPR会社との契約を行い、メディアで秋川牧園が紹介される機会を増やすための活動を本格的に始めました。既にその効果が実現し始めていますが、SNSによる情報発信など今までの活動とミックスしながら、秋川牧園の認知度をさらに引き上げていきたいと考えています。



▲秋川牧園の野菜生産部門・ゆめファームは、「令和4年中四国地区未来につながる持続可能な農業推進コンクール」の有機農業・環境保全型農業部門において中四国農政局長賞を受賞しました。

「はじめての農園セット」のご案内

秋川牧園では、自社で生産した鶏肉を中心に「精肉・たまご・自社加工の冷凍食品・野菜・牛乳・乳製品」などをご家庭にお届けする会員販売を行っております。



入会前に商品をお試しいただけるお得なセットのお申し込みはこちら▶



Instagram更新中

秋川牧園公式 Instagram では、日々の生産・加工現場の様子や、秋川牧園の商品・製品を使ったレシピ等を紹介しています。



この機会に是非ご覧ください▶



同封しております「あきかわさんの秋だより」は、宅配の会員様を中心とした消費者のみなさまに配布しておりますが、株主のみなさまにも秋川牧園のことを知っていただければと思い、同封させていただきました。お楽しみいただければ幸いです。

会社の概況 (2023年9月30日現在)

本社所在地 山口県山口市仁保下郷10317番地
 設立 1979年5月25日
 資本金 7億1千4百15万円
 従業員 252名(グループ合計 314名)
臨時社員及びパート社員を除く
 上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場

事業所

本社及び工場 山口県山口市仁保下郷10317番地
 大阪事業所 大阪府茨木市太田1-1-25

役員

代表取締役会長 秋川 實
 代表取締役社長 秋川 正
 取締役 秋川 次郎
 秋川 ひろ
 田村 じ
 田村 恭彦
 内田 みのり
 小野 典子
 山根 史浩
 江藤 史夫
 宇佐 美理世